

受 理 番 号	陳情第50号
件 名	広島市立中央図書館の臨時休館後においても「自習室」ならびに「新聞・雑誌閲覧室」の利用を求めることについて
要 旨	<p>広島市立中央図書館は、エールエールA館への移転に伴う図書整理・搬出作業のため、令和7年（2025年）9月1日（月）から臨時休館するとのことであり、「自習室の利用」並びに「新聞・雑誌の最新号の閲覧の利用」については9月15日（月・祝）までと告知されているが、臨時休館後においても現在地の「自習室」並びに「新聞・雑誌閲覧室」が利用できるようにしていただきたい。</p> <p>「自習室」は環境がすばらしく、大変人気があり、利用者は多い。社会人も見掛けるが、時期によっては高校生など受験生らしき学生を数多く見掛ける。多くの若者が熱心に自習している姿はすがすがしく、応援したい気持ちになる。移転先での中央図書館の供用開始は令和8年（2026年）4月の予定であり、約7か月は使用できないことになる。ちょうど受験シーズンと重なるこの休館は利用者である受験生にとって誠に不親切ではないだろうか。広島市は代わりとなる場所を検討されているのだろうか。青少年センターは近くではあるが、ここもいずれ移転の予定があるという。</p> <p>移転先の駅前には自転車を止めにくいことを心配する声を聞き、自習室は予約制とのことで、学生には現在の自習室の使いやすさは魅力的だと思われる。</p> <p>「新聞・雑誌閲覧室」も多くの利用者でにぎわっている。時間帯にもよるが高齢者世代が多く、私もその一人である。つえを突きながらの人も結構見掛ける。熱心に新聞など読まれていて、大切な時間を過ごされていると感じる。</p> <p>この利用者の人たちはおおよそ便利に通うことができる人であろう。この人々にとって現在地から駅前になることは通いづらくなる場合が多いと推測する。特に年配の人からは「駅前になれば行かない」という声をたくさん聞いている。私自身も交通機関を乗り継がなければ行くことができないので、足が遠のくだろう。</p> <p>例えばだが、現在の規模での閲覧スペースでなくとも、新聞・雑誌の種類を減らし縮小して、以前の休憩室を閲覧スペースとしてはどうだろうか。そうすれば自習室と同じ1階フロアになり、出入口は一つでも対応できる。</p>

要 旨	<p>また非常に重要なことであるが、広島市立中央図書館の核とも言える貴重な「浅野文庫」は、「浅野文庫等施設（仮称）」が令和11年度（2029年）に開館するまで現在の中央図書館3階に変わらず保管され続けるのである。</p> <p>ということは、その時まで少なくとも移転後約3年6か月余り中央図書館の建物は存在し、利用することが可能だということである。</p> <p>一般人はもちろん若者も高齢者も大勢利用し、貴重な居場所ともなっている「自習室」と「新聞・雑誌閲覧室」の利用サービスを継続して提供していただくよう陳情する。</p>
--------	---